様式第１号

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 31 日
２次評価日（課長等）	29 年 3 月 31 日

1 事業名	スポーツ振興事業	コード	113102

2 担当部課	部等	教育部	課等	スポーツ振興課	作成者	伊藤　雅章

3 事業概要				
目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち		
	政　策	文化・スポーツの振興	施　策	スポーツの振興
	予算科目	スポーツ振興事業費	業務委託	なし（直営）
	実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
	根拠法令	スポーツ基本法第4条・第7条・第22条		

●事業の内容（DO）

4 事業の概要等

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要（簡潔に）		市民が気軽にスポーツに親しむ機会・場所を設け、市民ひとり１スポーツの普及を図る。また、スポーツ大会や教室等を開催し、競技力の向上を図る。
目的	対象者	市民
	意　図	市民スポーツの振興を図る。

5 事業の実施内容

＊28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

１　スポーツ教室等
　スポーツ教室（５月～３月・１５６回・２，８７０人）
　おかや小学生体育塾（５月～１２月・４０回・６４８人）
　ジュニアアスリートのためのパフォーマンスアップ教室（１１月～２月・１５回・３２０人）
２　おかやファミリースポーツプログラム
　スポーツイベント（６月～１月・４回・２２１人）
３　スポーツ大会（主催大会）
　岡谷市、市教育委員会主催大会５８大会　県エースドッジボール協会主催３大会
４　かがやけ　おかやキッズ体力アッププログラム事業
　小学校１・２年生　３１クラス　各クラス年６回派遣
　教員等を対象とした指導者講習会を小学校７校で各１回実施

前年度の課題への対応	・各種スポーツ大会及びスポーツ教室への参加者が減少している傾向があるため、岡谷市体育協会及び各種競技団体等と連携し、競技者等のスポーツニーズ等を把握するなかで、参加者の増加に向けた取り組みを行った。 ・スポーツ教室は定員、講師人数の見直しを行なった。 ・おかや小学生体育塾はスポーツ機会の充実として、回数を８回から１０回へ。 ・ファミリースポーツプログラムの氷上運動会は、冬季国体の気運を上げるため、スケート振興事業へ移管した。 ・スポーツ大会は、大会の統合（市エース）及び大会の追加（県エース）を行なった。

6 指標の達成状況

＊活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

区　分	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 活動指標（指標名）	おかやファミリースポーツプログラム及び教室開催数			単位　回
実績値	206	208	215	
＊指標の説明	おかやファミリースポーツプログラム及び教室の開催回数			
② 成果指標（指標名）	おかやファミリースポーツプログラム及び教室の参加延人数			単位　人
目標値	6,953	6,332	5,662	4,600
実績値	4,600	4,052	4,059	
達成度	66.2%	64.0%	71.7%	
＊指標の説明	おかやファミリースポーツプログラム及び教室に参加した人数			
＊目標値の設定方法の説明	過去3年間における実績の最大値			

7 ア）コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

補助金負担金名	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 直接事業費	10,963,146	11,308,241	10,944,211	10,364,000
経常経費	10,803,346	11,121,429	10,637,511	10,314,000
臨時的経費	159,800	186,812	306,700	50,000
＊臨時的経費の説明	北信越国体バドミントン負担金・AEDバッテリー（H28）			

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
② 人件費		18,800,000	18,000,000	18,000,000	18,000,000
正規職員の人数（人）		2.35	2.25	2.25	2.25
③ 合計コスト（①＋②）		29,763,146	29,308,241	28,944,211	28,364,000
前年度比			98.5%	98.8%	98.0%
財源内訳	一般財源	28,811,746	28,305,041	27,991,411	27,122,000
	特定財源	951,400	1,003,200	952,800	1,242,000
＊特定財源の説明		スポーツ教室受講料（H28）			
④ 活動一単位あたりコスト		143,706	140,007	133,198	
前年度比			97.4%	95.1%	
⑤ コストに関する補足説明					

イ）補助金負担金の状況

［単位：件、円、%］

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
スポーツ振興事業補助金	件数	1	1	1	1
	金額	1,081,000	1,081,000	1,081,000	1,081,000
19市体育担当課長及び体育担当主任会議出席負担金	件数	1	1	1	1
	金額	2,000	2,000	2,000	2,000
北信越国体バドミントン競技会負担金	件数	0	0	1	0
	金額	0	0	250,000	0
北信越中学校総合競技大会バスケットボール負担金	件数	0	0	0	1
	金額	0	0	0	50,000
	件数				
	金額				
ア）の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	1,083,000	1,083,000	1,333,000	1,133,000
	割合	9.88%	9.58%	12.18%	10.93%

＊行が足りない場合は追加してください

●事業の評価（CHECK）

8 妥当性評価

＊妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。　妥当性　標準

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。		0
③ 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

＊有効性＝成果指標（項目7／住民の満足度）は向上しているか。　有効性　標準

評価項目				はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。				1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。				1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。				1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比	100.2%	1	
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度	71.7%		0

●改善の内容（ACTION）

10 具体的な課題と改善

課題	（少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること） ・少子高齢化社会等など社会情勢の変化に伴い、スポーツに対するニーズも多様化してきている。実情に即したスポーツ推進の取り組みが必要である。
改善方法	（上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容） ・参加者へのアンケート調査等スポーツニーズを把握するなかで、開催内容等、岡谷市体育協会及び各団体と連携し取り組む。
改善開始時期	平成２９年４月

●次年度の計画（PLAN）

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	A